

こがねいミーティングの方向性まとめ

	No.	こがねいミーティングの方向性	今後の検討方針について	検討の状況
広場の 使い方	1	広場周辺等の子ども、高齢者等の安全性の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・車道と歩道の舗装材を変える等明確に区分する。 ・敷地内の交差部は横断歩道を設置する等安全性を確保する。 ・自転車は手押し歩行とする等管理運営方法等の整理を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・外構計画は検討中。敷地内の安全確保策、ルール等は市において管理運営方法を整理する。
	2	駐車場台数等の見直し	<ul style="list-style-type: none"> ・平置き駐車場は、広場としての活用もできる臨時駐車場を整備する。 ・公用車の削減を検討する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・駐車場台数の見直し（126台→平常時103台、臨時23台）を行った。 ・公用車は削減する方向で検討を進めている。
	3	C o C o バスルートの見直し等を含めた検討を行うこと	<ul style="list-style-type: none"> ・現在、コミュニティバス再編事業を行っており、当該事業の基本方針で「新庁舎等の計画を踏まえたルート設定を行う。」こととしている。当該事業と連携しながら、引き続き、検討を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域懇談会を開催し、地域の要望事項等を整理した。今後、基本方針及び策定中である再編運行基準（案）を踏まえて、ルート等について検討する。
	4	災害時の広場活用も想定した検討を行うこと	<ul style="list-style-type: none"> ・災害ボランティア・救助隊の集結場所、機材置場、物資受入れスペース等として活用する。 ・マンホールトイレは、必要性、費用等を含めた検討を行う。 ・災害時の広場の設備、舗装、素材等については、こがねいミーティングの意見を踏まえた検討を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・災害時は災害ボランティア・救助隊の集結場所、機材置場、物資受入れスペース等として活用する。 ・マンホールトイレの設置に当たっては設置費、維持管理費が発生する。このため、免震構造である新庁舎に緊急排水槽を設置し、発災時であってもトイレが使用できるよう検討を進める。 ・大型車両の利用を考慮して段差のない設えとする。
	5	地上面の広場から福祉会館の屋上が立体的な広場となるよう検討を行うこと	<ul style="list-style-type: none"> ・こがねいミーティングの意見を踏まえた検討を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉会館の屋上はデッキと芝の設えとし、体操などの軽運動、市民の憩いの場としても活用できるような方向で検討を進めている。 ・福祉会館の1階の外階段はイベント等でも活用できるような設えとなるよう検討しており、2階、3階の外階段のスペースは、テーブルを配置する等市民がくつろげるスペースとなるよう検討している。
	6	工事期間が長いことから、緑の拠点として植物や樹木の検討を行うこと	<ul style="list-style-type: none"> ・植栽計画等において、検討を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・植栽計画等において、検討を行う。
マルチ スペース の 使い方	1	マルチスペースの使い方、用途、利用者等に応じた明確な区分となるよう工夫すること	<ul style="list-style-type: none"> ・会議室や多目的室は防音対策等を講じる。 ・幅広い利用者属性等に対応できるよう管理運営方法を整理する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・マルチスペースに隣接するスペースは一定の防音対策を講じる。 ・市においてマルチスペースの管理運営方法を整理する。
	2	マルチスペースと市民参画スペースを一体的に活用できるよう工夫すること	<ul style="list-style-type: none"> ・市民活動等も行えるよう管理運営方法を整理する。 ・飲食を可能とする場合を含めた管理運営方法を整理する。 ・市民参画スペースをガラスで囲む場合は、安全性に配慮する。 ・吹抜けを活かしたマルチスペースの活用ができるよう検討を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市において市民参画スペースの管理運営方法を整理する。 ・市民参画スペースは内部の活動が見え、且つ、防音性のある可動式の建具とし、開放時はマルチスペースと一体となるような設えとするほか、ミーティングや作業等が行えるような什器の配置をする方向で検討を進めている。
	3	魅力的な展示スペースとなるよう工夫をすること	<ul style="list-style-type: none"> ・誰もが見たくくなるような、オープンな展示スペースとなるようイメージを整理する。 ・効率的な展示用備品の収納、管理方法となるよう検討する。 ・夜間の展示も考慮した照明計画となるよう検討する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・展示スペースは市民の作品が展示できる場所となるよう整理を行った。また、照明は様々な展示に対応できるようライティングタクトにスポットライトを設置する方向で検討を進めている。 ・平時の使用、イベント時の使用等を想定し、福祉会館1階部分に倉庫を配置した。
	4	人をやさしくするような空間デザインとなるよう要望する。	<ul style="list-style-type: none"> ・こがねいミーティングでの方向性を受け止め、検討を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・こがねいミーティングでの方向性を受け止め、検討を行う。

	No.	こがねいミーティングの方向性	今後の検討方針について	検討の状況
多目的室の使い方	1	多目的室の設え	<ul style="list-style-type: none"> 多目的室は、諸室の規模、用途等に応じて、防音対策、床材、設備等の使い分けができるよう検討すること パーテーションで区切る等柔軟な対応ができること 災害時の活用等も考慮した設えとすること 障がい者等に配慮した設備を検討すること 	<ul style="list-style-type: none"> 1階の多目的室は主に各種講演会、体操など軽運動ができる室として、2階は主に各種登録団体の活動場所として、打合せや会議、音の出る活動や水を使う活動ができる室として整理する方向で検討している。 1階多目的室は災害時にはボランティア活動の拠点として活用するため、非常時にも対応できる設えとする。 2階の多目的室には、UDトークを設置する予定
	2	吹抜けに面した多目的室のデザイン等	<ul style="list-style-type: none"> 吹抜けは空調効率等を考慮した検討を行うこと 子育てひろばに面する部分等の安全性に配慮すること 吹抜けに面した多目的室等の配置、仕様を検討すること 	<ul style="list-style-type: none"> 子育て広場に面する部分等はガラスとわかるようサインをつけることで安全性を確保した。 吹抜けに隣接する多目的室はガラス張りとし、活動が見える設えとする方向で検討している。
	3	福祉会館屋上の特性を考慮した検討	<ul style="list-style-type: none"> 福祉会館の屋外階段の活用方法、設えを検討すること 福祉会館屋上の景色、風向き等の特性を考慮した検討を行うこと 	<ul style="list-style-type: none"> 福祉会館の1階の外階段はイベント等でも活用できるような設えとなるよう検討している。 福祉会館屋上のJRに面する部分はデッキとし、電車のビュースポットとしての活用を検討している。
	4	サイン計画と掲示物のバランス	<ul style="list-style-type: none"> 現状の計画ではガラス面が多く、壁面が少なくなるが、わかりやすいサイン計画となるよう掲示物とのバランスを考慮した検討を行うこと 	<ul style="list-style-type: none"> 実施設計段階で引き続き検討を行う。